



優秀賞 (総合部門)

リフォーム前後の写真

タイトル

那覇の家

タイプ

持家一戸建

講評

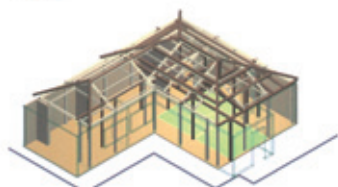
上位賞検討作品。白蟻被害に遭っていた木造民家における既存木組と鉄骨軸組を組み合わせ耐震補強をしながらのリフォーム。白いシャープな鉄骨を露出あるいは隠しながら違和感なく既存の木材や琉球的内装とうまく調和させている。



■改修前 木造住宅



■鉄骨構造
住宅内部から鉄骨を組上げる。施工を考えて鉄骨の重量・長さに配慮



■木造と鉄骨の混ざった空間



①外観



②居間



屋根架構



③居間



②居間



④ウッドデッキ



⑤台所



⑥子供部屋



⑦学習コーナー



⑧便所



⑨周辺外景

リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想 など

この地域は古い木造家屋の残る一角であり、この場所で生まれ育った施主はこれからもここで住み続けたいと考えていた。できれば昔ながらの赤瓦家に住みたいと思っていたおり、一軒の木造住宅が売りに出されそれを購入した。その住宅は、施主の意に反し、洋風にリフォームされていたため、再度のリフォームを行おうとしたところ、屋根の木組や柱など、シロアリ被害が隠されていることが判明した。売主の責任やいろいろな問題はあったが、それでもこの家に住みたいとの施主の決意からリフォーム及び耐震補強の設計、工事が始まった。《構造》建て替えが許されない敷地のため既存木組を取り替えず、新しく鉄骨軸組を組上げるとともに、外壁面を合板で補強し耐震性を確保した。様々な

な条件により鉄骨を内部から組上げるしかなく、部材の長さ、重量等施工性にも配慮した。
《快適性》既設外壁の上に空気層を設け杉板張りすることで、断熱性を向上させるとともに意匠性にも配慮した。
和室空間を間仕切り建具、収納建具、窓、掃出しなど通風に配慮している。新設した鉄骨軸組と和の空間が調和し快適な空間になるよう心がけた。
《平面計画》プランについては、居間と和室空間に戻るとともに、子供部屋、収納等を確保。台所と居間のつながり、台所前の子供の学習スペースなどを計画した。

特に配慮した住宅性能：

データ

所在地	沖縄県那覇市	構造／築後年数	在来木	造／	40	年
該当工事面積	71.94 m ² ／総工事床面積	71.94 m ²	該当部分工事費	950 万円／総工事費	950 万円	
居住者構成	15歳以上65歳未満： 2 人／65歳以上： 人／15歳未満： 2 人／ベッド：					
設計者	作事舎	担当者	谷 信治・安里 淳			
施工者	丸親建設	担当者	新垣 正明			

リフォーム前

リフォーム後

